



大阪市立

義務教育学校

学園長名 中山 吉一 准校長名 岡 真由美

所在地 〒544-0024 大阪市生野区生野西3-5-40

電話 06-6716-0121 (前期課程) FAX 06-6716-2153
06-6716-3377 (後期課程)

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/data/j672489/>



予定されている主な学校行事

	【共通】	【前期課程】	【後期課程】
4月		入学式	家庭訪問 7年二泊移住
5月		家庭訪問 1年～5年運動会 遠足	中間テスト 9年修学旅行
6月	プール開き	学習参観	期末テスト 9年実力テスト 職場体験
7月	期末懇談	5年林間学習	
8月			9年実力テスト
9月		1年～4年学習参観 6年体育大会	7～9年体育大会 9年チャレンジテスト
10月		作品展	中間テスト 文化発表会
11月	芸術鑑賞会	遠足	9年実力テスト
12月	期末懇談		進路懇談 9年実力テスト
1月			7・8年チャレンジテスト 9年実力テスト
2月		学習発表会	7・8年学年末テスト
3月			卒業式

標準服

有



前期課程



後期課程

教育目標

「集団の中で自分の良さを伸ばしていける子を育てる」
豊かな心と健全な身体を育む。基礎的な学力の充実と、基本的な生活習慣の確立を通じて、主体的に学習に取り組み、自律し、協力しあう子を育てる。

(自学・自律・思いやり)

校訓

「はばたく子 つながる子 切り開く子」

- ・自分・学校・まちに誇りをもち未来にはばたく子
- ・思いを伝えあい、助け合い社会とつながる子
- ・自ら課題を持ち、あきらめずにチャレンジし、未来を切り開く子

重点目標

【学力の向上】 【道徳心・社会性の育成】 【健康・体力の保持増進】

令和4年度全国学力・学習状況調査 (前期過程)

● 平均正答率 (%)

国語	算数	理科
59	55	52

● 結果概要

国語：全国の平均正答率は65%、大阪市は64%、本校は59%であった。
算数：全国の平均正答率は63%、大阪市は62%、本校は55%であった。
理科：全国の平均正答率は63%、大阪市は60%、本校は52%であった。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

● 後期課程教員による高学年への一部教科担任制の導入、習熟度別少人数学習、T・T等を実施しているが、今後も専門的な指導による学力の向上や指導方法の工夫による学習意欲の向上に取り組んでいく。また、学力向上支援チーム事業スクールアドバイザーによる教員の指導力向上に取り組み、日々の授業の充実と授業改善を進める。さらに、ICT活用の推進を進め、タブレット端末の持ち帰りをを行い、家庭でのデジタルドリル学習により、自主学習の確立をめざす。9年間を通してのキャリア教育 (IKUNO未来科) を進め、生野のまちに誇りをもって社会に羽ばたいていく子どもを育てるべく教育課程を創造する。

令和4年度全国学力・学習状況調査 (後期過程)

● 平均正答率 (%)

国語	数学	理科
58	39	42

● 結果概要

国語：全国の平均正答率は69%、大阪市は66%、本校は58%であった。
数学：全国の平均正答率は51%、大阪市は50%、本校は39%であった。
理科：全国の平均正答率は49%、大阪市は46%、本校は42%であった。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

○ 授業規律は確保できており、落ち着いた環境で授業に取り組むことができている。本校の課題である学習の定着が不十分な生徒に対するアプローチとして、放課後学習を実施している。スクールアドバイザー等からの専門的な指導や全校職員による相互授業参観・研究協議を随時行うなど能動的な研修をとおして、魅力ある授業づくりを行っている。
○ 自己有用感の育成を目指し、これまでも肯定的な声掛け等の行動支援を行ってきたが、本年度は全体研修を行い、方法を工夫しながらさらに推進している。
9年間のキャリア教育 (IKUNO未来科) をとおして、9年間で未来への夢を語れる子どもの育成を図る。

生野未来学園



令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（前期過程）

● 種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)
男子	18.12	16.48	35.65	33.06	—
女子	18.48	16.86	43.76	31.42	—

性別	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	37.52	9.82	145.64	20.16	47.62
女子	32.68	9.98	143.60	13.03	52.53

● 結果概要

男子の結果は、握力・長座体前屈で大阪市・全国平均よりも上回っていた。上体起こし・反復横跳び・50m走・立ち幅跳びでは、大阪市・全国平均より下回っていた。合計得点は大阪市より3ポイント、全国より4ポイント下回っていた。

女子の結果は、握力・長座体前屈で大阪市・全国平均よりも上回っていた。上体起こし・反復横跳び・50m走では、大阪市・全国平均より下回っていた。合計得点は大阪市とほぼ同じで全国より2ポイント下回っていた。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を受け、日常の体育の授業での運動時間の確保に努め、縄跳びタイムやかけあしタイムなど体力づくりの取り組みを充実させる。課題のある50m走などの改善には、後期課程陸上部の支援も受け、走り方教室等を開催し、記録向上をめざす。

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（後期過程）

● 種目別平均値 ※持久走と20mシャトルランのうち、20mシャトルランを選択して実施した。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)
男子	27.73	29.74	44.33	58.43	—
女子	21.46	20.96	38.42	47.92	—

性別	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計得点
男子	78.38	8.00	194.17	19.43	45.31
女子	47.96	9.26	162.56	11.74	45.19

● 結果概要

男子において、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走において大阪市・全国平均を上回っており反復横跳びでは、大きく差を開けており瞬発力に優れていることがわかる。

男子は、合計得点において全国平均41.01に対し本校45.31と大きくリードしているが、女子については、全国平均47.42に対し本校45.19と下回っている。

● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

部活動や体育の授業など運動を行う機会をととして、日常的に強化したい体力・運動能力を高める補強運動や「柔軟性」を補強するストレッチ、「巧緻性」を高めるリズム運動など、運動の充実・改善を行い子どもの体力・運動能力向上を目指す。運動を行う機会を増やすなど、体育的行事の充実も図る。

卒業後の進路

過去3年間で進学者数の多い学校を、国公立・私立等別に五十音順に記載しています。学校名の後ろに過去3年間の進学者数の累計を記載しています。

● 過去3年間の卒業生数	令和4年度	77	令和3年度	81	令和2年度	95
--------------	-------	----	-------	----	-------	----

【国公立】

阿倍野(2)生野 市岡 今宮 今宮工科(2)大阪府教育センター附属(4)大阪わかば(勝山・桃谷)(7)柴島(2)清水谷(2)住吉(2)成城(9)大正白稜(4)天王寺(3)西成(5)西野田工科 農芸 野崎 花園(3)阪南(6)東住吉(6)東住吉総合(12)枚岡樟風(2)布施(3)布施北 布施工科(4)茨田(2)三国丘 港(6)桃谷(通信制・定時制夜間)(3)八尾(2)八尾北(2)夕陽丘 生野工業(7)泉尾工業 扇町総合 大阪ビジネスフロンティア(7)工芸 咲くやこの花 水都国際(2)住吉商業 第二工芸 汎愛(5)東 南 都島工業(3)

【私立および大阪府外校など】

あべの翔学(4)上宮(5)追手門学院大手前(3)大阪(3)大阪偕星学園(4)大阪学芸 大阪暁光(2)大阪産業大学附属(2)大阪商業大学(2)大阪女学院(2)大阪体育大学浪商 大阪桐蔭(2)大阪夕陽丘学園(4)関西大学第一 近畿大学附属(4)金蘭会(2)建国 興國(20)好文学園女子(2)金光藤蔭(3)四天王寺東 常翔学園(3)城南学園 昇陽 清風 清明学院 天王寺学館 東海大学付属大阪 仰星(2)長尾谷 阪南大学(7)プール学院 明浄学院(3)桃山学院(3)八洲学園 ルネサンス大阪 YMCA学院 青山 佐賀清和 熊本国府 寒川 天理



大阪市立

義務教育学校

「特色ある学習活動」および「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動等

■ 学校教育目標・めざす子ども像

『9年間で未来への夢を語れる子どもを育てる学校』

○一人一人が、将来に、なりたい自分やあこがれる自分をみつけ、自律して学習に取り組み、学ぶことの楽しさを実感できる学校

○児童、教職員、地域・保護者がそれぞれ心通わせ、思いやり、親切にふれあい、信頼で結ばれる学校

○安全で落ち着いた情緒やゆとりの感じられる学校。機能的に使い込まれ、よく手入れされている学校



特色ある学習活動等

■ 特色ある教育活動

集団づくりでは、子どもたちの自信とやる気を育てるために学校全体でポジティブな行動支援に取り組んでいます。こんな自分になりたいという願いを形にするために子どもの社会性と主体性を育みます。また、9学年が一緒に学校生活を送るメリットを生かしてペア学年やたて割り活動等、異学年交流に取り組んでいます。その際、なかまづくりの手法として、ピア・サポート活動を取り入れ、互いに信頼し支え合う心を育みます。学習面では5年生から一部の教科担任制や小中の教員による乗り入れ授業など、一つの学校であるメリットを生かし、子どもたち一人一人にきめ細やかに対応していきます。

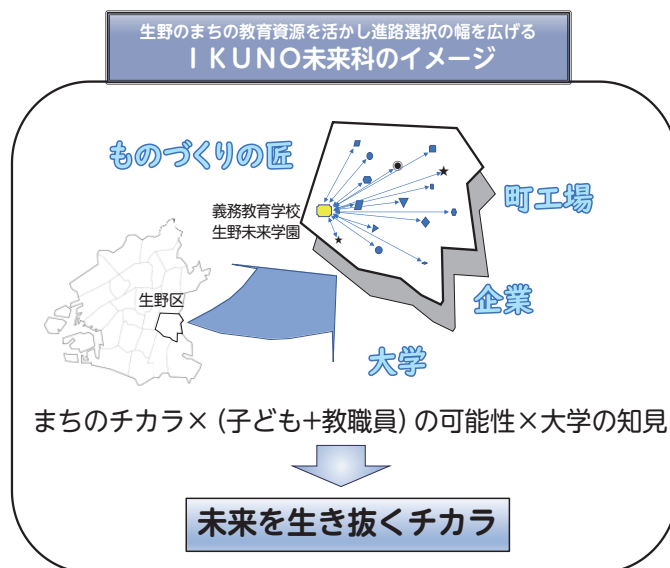


特色ある学習活動等

■ 『IKUNO未来科』

『IKUNO未来科』では、生野区にある企業や町工場等の地域の教育資源を有効活用して未来を生き抜くチカラを育てます。様々な地元企業・モノづくりの匠への聞き取りや商店街での起業体験、職場体験等の具体的な体験活動を充実させ、働く人と出会い、働く人の情熱に触れ、課題にチャレンジしていきます。また、『IKUNO未来科』の取組とともに各教科等で基礎的・汎用的能力※1を育みながら、9年間を通して子どもたちのキャリアの育成に取り組み、生野のまちに誇りをもって社会に羽ばたいていく子どもを育てます。

※1 人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力



生野未来学園



特色ある学習活動等

■ 9年間を通して子どもを育てる 4-3-2制

本校では教職員が一体となり、9年間を通して子どもたちを育てていきます。そのため9年間を図のように3つのステージに分けて、子どもたちの発達段階に応じた形で学校教育・学校行事を行います。

義務教育 9年間を通して子どもを育てる【4－3－2制】									
ステージ	ファースト・ステージ（ホップ期）				セカンド・ステージ（ステップ期）			サード・ステージ（ジャンプ期）	
学年	1年（小1）	2年（小2）	3年（小3）	4年（小4）	5年（小5）	6年（小6）	7年（中1）	8年（中2）	9年（中3）
儀式的行事	入学式			※節目行事		修了証書授与式	※節目行事		卒業式
泊行事					林間学校		二泊移住		修学旅行
授業	← 学級担任制 45分授業 →				← 一部教科担任制 →			← 教科担任制 50分授業 →	
標準服	前期課程（小学校課程）用				移行期			後期課程（中学校課程）用	
教育課程	前期課程（小学校課程）						後期課程（中学校課程）		
学び	『楽しむ』				『深める』			『拓く』	
	● 生活から学びへ・読書習慣の定着				● 基礎的基本的な学習内容の定着			● 将来の目標をもって学習に取り組む	
	● なかよく・協力して				● 一人ひとりの良さを見つけ認める			● 他を尊重しより良い人間関係の構築	
	● 早寝早起き朝ごはん・運動を楽しむ				● 体力の向上・安全への理解			● 保健・食に関する意識の向上	
	☆ I KUNO未来科（教科横断的 独自教科）								

校長先生のメッセージ

義務教育学校生野未来学園は、林寺小学校、生野小学校、舍利寺小学校、西生野小学校、生野中学校が再編されて新しく生まれ変わった学校です。前期課程での子どもたちの成長と成果や課題を区切りなく、後期課程へ引き継ぎ、教育活動を行っていただけることに大きな可能性を感じています。「生野未来学園」という名前の通り、9年間で大きな「未来」を創造していただけることに私たちはわくわくしています。

大阪市初の義務教育学校であり、これからの未来に大いなる可能性を含んだ学校です。小学校、中学校が一体となった教職員と児童生徒、そして保護者・地域の皆様と一緒に「愛される」「誇れる」学校にしていきます。

運営に関する計画

● 計画のエッセンス

大阪市全体の課題である学力の向上はもちろんのこと「教科横断的な視点をもった教育活動」「教育課程の編成」「地域と連携、教育に必要な人材、資源の発掘」に視点を於いたカリキュラム・マネジメントの確立が課題。この2点を中心に大阪市教育振興基本計画のもと取り組みを進める。

● 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- ・学力経年調査及び校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童・生徒の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童・生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度の不登校児童・生徒の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・学力経年調査及び校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な

- 「思う」と回答する児童・生徒の割合を60%以上にする。
- ・小学校学力経年調査及び中学生チャレンジテストにおける国語および算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語 (英語) の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。《前期課程》
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合 (4技能)を25%以上にする。《後期課程》
- ・学力経年調査及び校内調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・デジタル教材を活用した朝学習を週3回実施する。
- ・学習者用端末を活用した家庭学習を週3回実施する。
- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。